



contents

〈展覧会紹介〉 特別企画展「北陸新幹線福井・敦賀開業記念 横山大観展」	[2~3]
〈展覧会紹介〉 コレクション展「北陸新幹線福井・敦賀開業記念 福井県立美術館名品展／特集 源氏物語」	[4]
〈イベント報告〉テーマ展「小コレクター運動と福井」	[5]
〈イベント報告〉テーマ展「江戸時代の女たち展～美人図コトハジメ～」	[6~7]
次回展覧会のお知らせ	[8]
令和6年度ボランティア新規会員募集	
令和6年度実技講座受講生の募集	

表紙：横山大観《群青富士》(部分) 静岡県立美術館蔵 「横山大観展」より





横山大観《或る日の太平洋》1952（昭和27）年 東京国立近代美術館

北陸新幹線福井・敦賀開業記念

横山 2024 4/26 金 ↓ 6/2 日

大観展

【休館日】5/13（月）5/15（水）
 【開館時間】午前9時〜午後5時
 ※4月26日は午前10時
 （入館は午後4時30分まで）

【会場・主催】福井県立美術館
 【後援】福井県市町教育委員会、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALLA
 【観覧料】一般1400円／高校生900円／小学生600円
 ※20名以上の団体、本展リピーターは2割引き。リピーター割（一般のみ）は他の割引や減免との併用ができません。
 高校生の方は生徒手帳の提示が必要です。
 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額 ※未就学児は無料
 ※スズキ決済アプリPayPay（ペイペイ）対応 ※学校鑑賞会（対象は福井県内学校のみ要申込）は無料



《村童観猿翁》1893（明治26）年 東京藝術大学
 1889（明治22）年、大観は東京美術学校絵画科の一期生として入学しました。そこでは福井にもゆかりの深い岡倉覚三（天心）校長の理念のもと、新しい日本画の創造が追及されました。1898（明治31）年に岡倉が校長職を追い、大観はついでに日本美術院の創設に参加、その後の活躍は日本美術院が舞台となります。一歩進んだ表現を模索するなかで試みた、人物の心情や抽象的な概念を現した大観の作品は話題を呼ぶようになります。本作は東京美術学校の卒業制作です。大観の回想によれば、一期の卒業生の中で最高点でした。



《群青富士》1917-18（大正6-7）年 静岡県立美術館
 大観は明治末から水墨画と着彩画を併行して描き、個性を重んじる大正の気風にも後押しされ、大胆な色彩構成や造形の面白さを追求します。大画面に生き生きと描かれた山水人物の水墨と色彩の競演は、師・岡倉覚三（天心）の理想をはるかに超える境地であったことでしょう。



《流燈》1909（明治42）年 茨城県近代美術館
 大観と菱田春草が始めた、筆線を排し、混色した絵具で塗る新画法は「朦朧体」「化物絵」と批判を浴び、絵が全く売れなくなりますが、海外遊学を経て、色彩表現の研究を進めることで色は明快になり、朦朧体の弱点は克服されます。酷評され、長い苦難の時を耐え忍び、1909（明治42）年第3回文部省美術展覧会に出品した《流燈》で大観の評は一変します。



①《山路》1912（明治45）年 京都国立近代美術館 ②《野の花》1936（昭和11）年 永青文庫（熊本県立美術館寄託）
 ③《瀟湘八景》のうち「洞庭秋月」1927（昭和2）年 大倉集古館 ④《山に因む十題 靈峰四趣・其一春》1940（昭和15）年 茨城県近代美術館
 ⑤《鼬》1926（大正15）年 水野美術館

福井県立美術館では北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、福井にルーツを持つ美術指導者・思想家の岡倉覚三（天心）（1863～1913）の弟子であり、日本画の巨匠・横山大観（1868～1958）を顕彰する展覧会を開催します。大観は越前和紙を支持体として愛用するとともに普及に大きな役割を果たしたことから二重の意味で福井に深い関わりを持つ作家です。

大観は1868（明治元）年に水戸（現・茨城県水戸市）に生まれ、東京美術学校（現・東京藝術大学）一期生となります。新たな日本画の創造を目指す岡倉校長の薫陶を受け、古典技法や模写で培った技術を土台に着想や画題、人物の表現において新機軸を打ち出していきます。

そして日本美術院を主な舞台に、古典の受容から発展させた新鮮な着想による意欲作を生み出す一方、伝統画法に西洋的な造形方法を融合させた、新しい彩色のアプローチを試みました。

1900（明治33）年頃から盛んに試みたのは「朦朧体」と呼ばれた輪郭線を廃し混色による彩色表現で、それが1904（明治37）年の外遊で墨を色のように使った空気遠近法となり、1906（明治39）年には濁りのない明快な色彩へと移行しました。明治末から昭和にかけては情緒豊かな水墨と絢爛たる着彩の作品を併行して描き、晩年には日本を象徴する富士や海を多様な趣で描き出し、1958（昭和33）年に89年の挑戦に満ちた生涯を終えました。

本展は大観の足跡を初期から晩年までの代表作から展望し、巨匠・大観がいかにして生まれたのか、その成長の過程や、発想の斬新さ、あくなき挑戦について紹介します。特に福井の和紙漉き職人・岩野平三郎との関わりに注目し、国産日本画用紙を積極的に使い、支持体を絹本から紙本へと日本画界に大きな変革をもたらした過程やその功績を、岩野平三郎家旧蔵の豊富な資料や実際の作品からあきらかにします。

展示構成

1. 良き師、良き友との出会い
2. 世界を見る
～朦朧体から空気遠近法へ～
3. 水墨と着彩の競演
4. 精神の高みに
5. 絵絹から和紙への道程

- みどころ1 日本一長い画卷《生々流転》（東京国立近代美術館蔵 5/16-6/2展示）、《瀟湘八景》（東京国立博物館蔵 4/26-5/9展示）の重要文化財2点が出品されます!!
- みどころ2 美術史上、記念碑的作品《屈原》（蔵島神社蔵 4/26-5/12展示）が出品されます!!
- みどころ3 新幹線開業を記念し、前後期、全館展示室で作品や資料80点を超える大回顧展です!!
- みどころ4 越前和紙を中心に、大観と福井との深すぎる関係をご紹介します!!

和紙は絹に比べて格下と見られていた時代、画壇トップの大観が展覧会出品作や、皇室への献上作に積極的に越前和紙を使うことで、皆がそれに倣いました。大観ほど冒険心があり、影響力のある作家はかつていたでしょうか。



左：1926（大正15）年11月、岩野平三郎製紙所にて 横山大観（2列目右から2人目）と職人たち
 右：1926（大正15）年12月、岩野平三郎製紙所にて 大観発注の世界最大の紙を漉く

図録には、横山大観記念館と福井県立美術館の総力を注ぎ込んだ世界一詳しい横山大観の年表および、当館所蔵の岩野平三郎宛大観書簡約90通すべて画像つき翻刻など大観関連資料も豊富に収録します!

注目!!



北陸新幹線福井・敦賀開業記念 福井県立美術館 名品展

①小野忠弘「無題 (BLUEシリーズ)」(部分) ②狩野芳崖「伏龍羅漢図」(部分)
③ジャック・カロ「二人のパンタローネ」(部分) ④野々村仁清「色絵牛図茶壺」

同時
開催

特集 源氏物語



⑤岩佐又兵衛勝以「和漢故事説話図 浮舟」(部分)
展示期間 3/30(土)～

2024 3/16(土)～4/14(日)

- [開館時間] 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- [休館日] 月曜日
- [主催・会場] 福井県立美術館
- [後援] 福井新聞社、NHK福井放送局、月刊URALA
- [料金] 一般100円(20名以上の団体は2割引、ほかの割引との併用不可)
高校生以下、シニア(70歳以上)無料
(ご来館時に身分証をご提示ください)
※障がい者手帳等をお持ちの方とその介助者1名は無料
※スマホ決済アプリPayPay(ペイペイ)対応
※3月17日(日)「家庭の日」は無料
- [関連イベント] ◎学芸員によるリレーギャラリートーク
[日時] 3月23日(土)、4月6日(土) 各日ともに午後2時～
[会場] 1階 第1展示室、2階 第3展示室 第4展示室
※観覧券必要、申込み不要 先着40名

大河ドラマ「光る君へ」の世界を360度映像で体験!

VRドームシアター～大河ドラマ「光る君へ」～
in 福井県立美術館



毎週日曜 NHK総合 夜8時ほか 主演/吉高由里子(紫式部/まひろ役)
福井県越前市がドラマの舞台となります!

[日時] 3月30日(土)31日(日) 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

[場所] 福井県立美術館 1階ギャラリー

[主催] NHK福井放送局

[共催] 福井県立美術館

[申込] 体験は無料。事前の申込は不要ですが、当日、受付にて整理券を配布します。

[問合せ] NHK福井放送局 0776-28-8850

(平日/午前10時～午後6時)

ホームページ <https://www.nhk.or.jp/fukui/>



《イベント報告》

主催 福井県立美術館

小コレクター運動と福井 2023 11.25 SAT - 12.24 SUN

福井県立美術館では11月25日(土)から12月24日(日)まで、「小コレクター運動と福井」展を開催しました。

1950年代より創造美協会福井支部のメンバーたちが「小コレクター運動」を推進。瑛九や鬮嘸、池田満寿夫等の作品収集を軸に運動を繰り広げました。本展では、小コレクターたちが収集した作品群を通して、「福井の小コレクター運動の軌跡」を紹介しました。

本展関連イベント「学芸員によるギャラリートーク」等、運動を検証するイベントも行われ、多くの方々にご来場いただくとともに、各メディアでも大きく扱われ、沢山の反響をいただきました。

ご来場いただいた皆様にこの場を借りて、お礼申し上げます。

《関連イベント》◎学芸員によるギャラリートーク

[日時] 令和4年12月9日(土) 14:00～15:20頃、
20日(水) 11:00～11:40頃

[場所] 福井県立美術館 第4展示室

[講師] 西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))

[参加人数] 25人、11人



池田満寿夫 左:《埋葬》右:《月の騎士》共に1957年

泉茂《A line-up of 31 etchings (31点組)》1979年

「作品購入制作の支えに」

西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))

1952年、美術運動家・久保貞次郎は、画家・瑛九らと共に美術教育団体「創造美育協会」を設立。新しい美術教育に情熱を燃やす教師たちを対象に、創造美育セミナー、児童画の公開審査会などを実施しました。その新しい美術教育運動に草創期から携わっていた福井の教師・木水育男と、彼に感化された創造美育協会福井支部のメンバーたちは、久保が提唱する「小コレクター運動」に傾倒。運動は瑛九を中心に、鬮嘸や池田満寿夫ら貧窮していた画家たちを支援するかたちで進められました。

福井創美の主導者であった木水は瑛九と頻りに手紙のやりとりを行い、58年に「瑛九油絵頒布会」を結成。定期的な仕送りにより作品を購入し続ける約束を瑛九と交わしました。瑛九が60年に急逝するまでに描いた微細な点描による油彩画の傑作の数々は、この時期に生み出されたものです。

また、その活動の一環として、無名ながらも旺盛な制作活動を行っていた鬮嘸や池田満寿夫の版画の頒布会もつくられます。頒布会の会員は、版画を毎月購入する契約を作家と結び、鬮嘸や池田もその約束を果たすために、100種類以上の版画を制作。彼らの油彩画も、同じように福井の会員によって収集されています。この活動が続けられたことにより、鬮嘸は新しい環境とチャンスをもとめて58年に渡米する際の一助を得、池田は版画家として名を成すまでの間制作に没頭できる環境に恵まれることになったのです。

こうした小コレクター運動の理念は、78年に発足した「アートフル勝山の会」や「大野鬮嘸の会」に受け継がれ、現在も福井の地で生き生きと継承され続けています。

※本文は、寄稿文(福井新聞、2023年11月25日掲載)を抜粋・改稿した。



「小コレクター運動」について話す鬮嘸(左)と西村学芸員 2010年



菱川師宣「二美人と若衆読書の図」個人蔵

江戸時代の 女たち

美人図コトハジメ

令和6年
1/3(水)～
2/18(日)

歌川直弘「正月万歳図」個人蔵



新年にふさわしい、江戸時代の華やかな女性たちの姿をご紹介します。本展覧会は江戸時代に花開いた浮世絵の中でも肉筆浮世絵という、絵師直筆の作品に注目したものです。三章立てで、以下のように構成しました。

第一章 浮世絵の黎明

浮世絵、特に美人図がどのようにして成立したのか、その過程を風俗画から寛文美人図への変遷よりご紹介しました。

近世初期風俗画は、都市を描いた洛中洛外図、その一区画にあたるような名所の様子、屋外で遊ぶ人々、遊里など室内で催される宴の様子と徐々に描く対象がクローズアップされていきました。さらに絵の中の人物へ鑑賞の目が向けられることで、無背景に一人立の美人を描いた寛文美人図が登場しました。



《関連イベント》

●学芸員によるギャラリートーク

[日 時] 2024年1月6日(土)、20日(土)、2月10日(土)
各日午後2時～
[場 所] 2階展示室
[講 師] 田中亜季(当館学芸員)
[参加人数] 計71人



第二章 美人図の展開

寛文美人図の延長線上に浮世絵が位置します。本章では1765年の「錦絵」誕生を区切りとし、それ以前の初期浮世絵師と、以降の絵師を概観しました。

初期の絵師としては「浮世絵の祖」と名高い菱川師宣に始まり、堂々とした一人立美人を得意とした懐月堂派、気品ある美人を描いた宮川派、その同時代の絵師たちをご紹介しました。量感があり華やかな女性が好まれた時代でした。

多色摺木版画「錦絵」が考案されると、華麗な絵の大量生産が可能になり、浮世絵の主流が肉筆から錦絵へと移行します。そのような中でも肉筆浮世絵は美人を主題に描かれ続けました。勝川派から幕末までの絵師に注目し、初期とは異なる面長で身体が薄く描かれた女性の姿をご紹介しました。



第三章 上方美人図

江戸以外の都市や地方でも、浮世絵は描かれ親しまれていました。本章では京都及び大坂の上方絵師をご紹介しました。京都の絵師西川祐信は温雅な女性を描き、版本の挿絵を通して遠い江戸の絵師に影響を与えました。大坂で活躍した月岡雪鼎は気品ある美人図を得意としました。江戸とは一風異なる気品をご堪能いただきました。

本展覧会では美人の変遷だけでなく、見立など画題や、形・表装の面白さ、煙管など装身具もご紹介しました。

さらに会期中には担当学芸員によるギャラリートークやトークサロン、福井市美術館学芸員の前田詩織氏の講演会を通して、浮世絵美人図について知識を深めることができました。

最後に、本展覧会の趣旨にご賛同いただき、多大なるお力添えをいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



宮川長春「雪中遊女道中圖」個人蔵



●美術館学芸員トークサロン

テーマ「浮世絵どこを見る？」
[日 時] 2024年1月21日(日) 午後5時30分～6時30分(1時間)
[場 所] 美術館喫茶室ニホ
[講 師] 田中亜季(当館学芸員)
[参加人数] 13人



●記念講演会

テーマ「華麗なる浮世絵」
[日 時] 2024年2月3日(土) 午後2時～3時30分(1時間30分)
[場 所] 講堂
[講 師] 前田詩織氏(福井市美術館学芸員)
[参加人数] 40人



再興 第108回院展

【会期】 2024年 6月21日(金)～7月7日(日)

福井ゆかりの岡倉天心による日本美術院、その理念を受け継いだ横山大観らによる再興日本美術院は、美術研究団体として100年以上も日本画壇を牽引しています。

本県では3年ぶりの開催となる「院展」。日本美術院同人の新作、受賞作品、福井県をはじめとした北陸在住・出身の入選作など最高峰の日本画61点をご紹介します。



手塚雄二 《双樹》2023年

同時開催

特別公開 東叡山寛永寺根本中堂天井絵奉納記念 手塚雄二 雲は龍に従う～上野から龍がやってくる～

上野の龍が新幹線でやってくる!? 当館特別館長の手塚雄二によって描かれた、巨大な天井絵「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》」を特別公開。奉納前の今だからこそ、この機会をお見逃しなく。



手塚雄二 東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》2023年

令和6年度 福井県立美術館ボランティア 新規会員募集

福井県立美術館では来館者と美術館をつなげる役割を担っていただく「ボランティア」を募集します。
ご興味のある方はご応募いただきますようお願いいたします。

募集の内容	名称	福井県立美術館ボランティア	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県内外美術館・博物館の図録、年報の整理 2. 新聞、ポスターチラシの整理 3. 展覧会の見どころや作品についての「ちょこっと案内」 4. 展覧会の見どころをSNSで発信 5. 学校等の団体鑑賞、キッズミュージアムのサポートなどの中から、興味のある内容でご活動いただけます。
	募集人数	5名程度		
	活動日	月2回程度(以下のいずれか) 水曜日、土曜日、日曜日、祝日、各展覧会にて開催されるイベント時など ※オンライン会議を開催する場合もあります。		

1. 募集条件

- ・活動開始時18歳以上の県内在住者・福井県立美術館ボランティアの活動方針に沿って、積極的に活動する意欲を持った方
- ・展覧会でのギャラリートークや見どころ解説会、その他フォローアップ研修に参加可能な方
※ギャラリートークや見どころ解説会、フォローアップ研修は主に土曜日に行います。
- ・ボランティア相互連絡のために個人のメールアドレス、携帯電話番号を開示いただける方
- ・オンライン会議、SNSグループに参加可能な方
- ・月2回の活動に参加可能な方
- ・原則無償の活動となります
- ・登録期間は令和7年3月31日までです。
(美術館の承認により登録更新も可能です)

2. 募集方法

申込締切…令和6年6月30日(当日消印有効)
HPに掲載の申込書にご記入いただき、メールもしくは郵送でお送りください。追って説明会の日時をお知らせします。
※メールの場合タイトルに「ボランティア応募」と記載、郵送の場合封筒に「ボランティア応募用紙在中」と朱書。

3. 申込先

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
福井県立美術館ボランティア担当
TEL.0776-25-0452
FAX.0776-25-0459
Mail: finearts@pref.fukui.lg.jp

※応募書類はお返ししませんのでご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報には募集に関する連絡以外には使用しません。

お知らせ

令和6年度 福井県立美術館 実技講座受講生の募集

福井県立美術館では「日本画」「洋画」「素描(デッサン)・水彩画」の基礎講座(4～5月・10回)と、同内容の専門講座(6～10月・25回)の受講生を募集します。

※詳しくは美術館ホームページ、または館内設置の募集要項をご覧ください。

◎2024年3月～4月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため
下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。
3月4日(月)～3月15日(金)、3月18日(月)、3月25日(月)、
4月15日(月)～25日(休)

美術館のホームページが
リニューアルしました!

新アドレスはこちら

<https://fukui-kenbi.pref.fukui.lg.jp/>

